



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 日本農薬学会第42回大会の御案内
- 技術士試験対策セミナーの御案内
- 講師派遣について
- 農業科学研究奨励金の交付申請について

平成28年度第2回常任評議員会議事録

日 時：平成28年7月30日(土) 13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長，副会長，常任評議員，第42回大会委員長
計13名(欠席3名)

議 事：

I. 平成28年度第1回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成28年度収支の現状(1月1日から7月27日まで)について報告があった。

2. 編集委員会

- ・JPS第41巻3号と和文誌2号の発行予定について報告があった。
- ・平成28年度の投稿審査状況について報告があった。
- ・論文賞候補論文の選考について報告があった。
- ・BioMed CentralとSAGE Publishingのオープンアクセスについて説明がなされた。
- ・編集委員会企画セミナーのアンケート結果について報告があった。
- ・論文へのアクセス状況について報告があった。

3. 環境委員会

- ・平成28年度の活動状況について説明があった。
- ・平成28年度の残留農薬分析セミナーの開催予定について説明があった。

- ・農薬の理解促進WGの活動状況について報告があった。

- ・講師派遣に関する報告があった。

- ・環境委員会の再構成に関する提案について検討した。

4. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

5. ホームページ委員会

- ・平成28年度の活動状況について説明があった。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・平成29年度の日本農薬学会賞の候補者の推薦および選考状況について報告があった。
- ・第15回日本農学進歩賞の候補者推薦について報告があった。

7. 技術士育成推進委員会

- ・技術士試験対策セミナーの第42回大会における開催について検討された。

8. 昆虫科学連合

- ・3月29日に総会があり，日本昆虫学会・日本応用動物昆虫学会と共催でシンポジウムを開催した。

9. 植物保護科学連合

- ・平成28年度の日本学術会議シンポジウム(12月3日)では，当学会からの推薦で梅村賢司氏(Meiji Seika ファルマ)が講演する。

10. 農学会関連

- ・日本農学会の法人化に関するアンケートについて報告があった。
- ・10月8日に日本農学会シンポジウムが開催される。

11. 国際会議等派遣研究者応募規定の改訂について

- ・応募規定の改訂について報告があった。

12. 役員・評議員選挙について

- ・平成28年度に実施される役員・評議員選挙の投票方法の告知方法について説明があった。

13. 第42回大会関係

- ・大会の準備状況について説明があった。
- ・シンポジウムの準備状況について説明があった。

14. 40周年記念事業関連

- ・アーカイブ化の進捗状況について報告があった。
- ・小集会講演要旨著作権の利用許諾に関して進捗状況

- の報告があった。
15. 研究会等の協賛について
- ・平成28年9月14日(水)に北とびあ(東京都北区)で開催予定の第31回報農会シンポジウムの協賛を承認した。
16. 入退会の報告(平成28年5月1日～7月15日)
- ・入退会が承認された。入会は正会員5名,退会は正会員4名。
17. その他
- ・農薬工業会からの研究教育支援について報告があった。

第196回常任編集委員会 議事要旨

- 日 時:平成28年5月2日(月)～(メール会議)
- 議 事:
- 1) 論文賞推薦要領等の確認
論文賞の選考方法,推薦依頼書,推薦要領および推薦書様式の案について確認した。
 - 2) 農薬誌41巻2号の掲載内容
掲載内容を承認した。
 - 3) 談話室と書評の推薦依頼
談話室の執筆者や書籍の推薦を常任編集委員に依頼した。

第197回常任編集委員会 議事要旨

- 日 時:平成28年7月30日(土)10時～12時
- 会 場:本植物防疫協会 地下会議室
- 出席者:14名 欠席者:1名
- 議 事:
- 1) 論文賞の選考
22名の編集委員から9論文が推薦された。選考手順を確認し,それに則って最優秀論文1編を選考した。著者の推薦受諾の確認と学会賞受賞者選考委員会への推薦を編集委員長に一任した。
 - 2) 英文誌の出版委託
BioMed CentralとSAGE Publishingからの英文誌出版に関するプロポーザルについて説明があり,議論した。
 - 3) 編集委員長と話そうのアンケート集計結果
第41回大会のランチョンセミナーとして開催した編集委員長と話そうのアンケート集計結果について報告があり,今後の対応について議論した。
 - 4) 書評の掲載
著者から依頼のあった書籍の書評について,掲載を承認した。執筆者については編集委員長に一任した。
 - 5) 論文pdfへのアクセス状況
今年1月から6月のインターネットによる論文pdfへの

アクセス数は月平均約11,500件であり,昨年の月平均約7,000件と比較してかなり増加しているとの報告があった。

平成28年度学術小集会委員長との懇談会議事録

- 日 時:平成28年9月10日(土)15:30～17:00
- 会 場:日本植物防疫協会 地下会議室
- 出席者:学術小集会委員長7名,常任評議員会メンバー14名(重複1名)
- 議 事:
1. 各学術小集会の平成27年度活動結果報告および平成28年度活動状況報告
 - ・各委員長から昨年度の活動結果および本年度の活動状況(研究会の開催予定を含む)が報告され,常任評議員会との質疑応答があった。
 2. その他,連絡事項など
 - ・小集会の役員選出について後継者になることへの協力のお願があった。
 - ・学会誌への寄稿願いについて編集委員長から説明があった。
 - ・個人番号に関する会計処理について,謝金やアルバイト雇用に関する取り決めについて説明があった。
 - ・講演要旨アーカイブ化に伴う著作権について,利用許諾手続きをとる方針で検討をお願いした。アーカイブ化により,農薬学会の会員であれば全ての研究集会の要旨を農薬学会HPで閲覧できる。
 - ・今後,講演要旨の様式の統一化や,利用許諾書の様式などについて検討することが説明された。

平成29年度第2回学会賞受賞者選考委員会議事録

- 日 時:平成28年9月27日(火)14:00～16:30
- 場 所:植物防疫会館地下会議室
- 出席者:15名
- 議 事
1. 選考委員の2/3以上が出席していることから選考委員会は成立していることを確認した。
 2. 推薦のあった奨励賞,業績賞(研究),業績賞(技術)の各候補について,選考に関する内規に基づいて厳正に選考を行い,奨励賞1件,業績賞(研究)1件,業績賞(技術)2件の授賞候補を決定した。
 3. 論文賞については,学会誌編集委員会より推薦のあった論文を授賞候補とすることを決定した。
 4. 今後,上記授賞候補に対して,評議員による受賞可否投票の手続きにはいる。
 5. その他

会 員 異 動

(平成28年7月16日～平成28年8月31日)

入 会

正会員

多田 功 森本 政吉 田中 智己 伴野 有彩
眞境名元次

学生会員

庄司有璃子 西本明日香

海外会員

Abdel Ghani Sherif

(受付順)

退 会

終身会員

中島 國治

正会員

玉川 重雄 佐藤 榮喜 神谷 勇治 池見 直起
岡庭奈保子 向井 渉子

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛する会議等

2016年

11月

22日(火) 第24回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会 農薬レギュラトリーサイエンス研究会

会 場：法政大学スカイホール（市ヶ谷キャンパスポアソ
ナードタワー 26F）[〒102-8160 東京都千代田区
富士見2-17-1]

U R L : <http://pssj2.jp/2015/committee/regula/regula24.html>

12月

3日(土) 平成28年度日本学術会議公開シンポジウム

「生態系サービスと農業生産」

主 催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会，植物
保護科学連合

会 場：東京大学農学部2号館 化学第一教室 [〒113-8567
東京都文京区弥生1-1-1]

U R L : <http://www.plantprotection.sakura.ne.jp/symp/sym2016.html>

2017年

3月

6日(月)～8日(水) 日本農薬学会第42回大会

主 催：日本農薬学会

会 場：愛媛大学城北キャンパス [〒790-8577 松山市文
京町3番]

U R L : <http://pssj2.jp/congresses/42/taikai42.html>

4月

21日(金) 第34回農薬生物活性研究会

主 催：日本農薬学会 農薬活性研究会

会 場：東京農業大学 校友会館グリーンアカデミー 3F
大会議室 [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioactivity/bioactivity34.html>

29日(土) 第27回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

主 催：日本植物病理学会殺菌剤耐性菌研究会

会 場：アイーナ いわて県民情報交流センター [〒020-
0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号]

U R L : <http://www.ppsj.org/meeting-danwa.html>

学会主催会議等の詳細

第24回レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会，農薬レギュラトリーサイエンス研究会

共 催：法政大学植物医科学センター

日 時：平成28年11月22日(火)

場 所：法政大学スカイホール（市ヶ谷キャンパスポアソ
ナードタワー 26F）

[〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1]

<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/campus/ichigaya/ichigaya.html>

交 通：JR総武線市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分

U R L : <http://pssj2.jp/committee/regulatory/regula24.html>

プログラム：

9:30 受付開始

10:00 開会・挨拶

10:10 「農薬登録における作物群について」

農林水産省 入江 真理 氏

11:10 「高知県におけるマイナー作物の農薬登録拡大」

高知県農業技術センター 島本文子 氏

12:00 昼 食

13:00 「薬用作物に係る農薬問題（登録，作物群など）につ
いて」

高知県病害虫防除所 朝比奈 泰史 氏

13:50 「薬用植物における諸問題（栽培，農薬など）および
取り組みについて」

株式会社ツムラ 熊澤 広明 氏

14:40 休 憩

- 15:00 「統計的手法による作物分類化について」
大阪大学教授 東海 明宏 氏
- 15:50 パネルディスカッション
(講演者+農薬工業会 原 正樹 技術委員会委員長)
- 17:00 閉会
- 17:30 情報交換会

参加費：5000円 情報交換会：5000円

参加申込み方法:

(一般財団法人)残留農薬研究所 坂 真智子 [saka@iet.or.jp] までメールで研究会出欠, 情報交換会出欠をご連絡ください.

メールでの申し込み締切り:11月21日(月)17:00 その後は, 当日申し込みとさせていただきます.

日本農薬学会第42回大会の御案内

日本農薬学会第42回大会を平成29年3月6日(月)から3月8日(水)までの3日間にわたって松山全日空ホテルおよび愛媛大学(城北キャンパス)にて開催いたします。本学会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。一般講演の充実のため、学術小集会などの発表で評価されたご研究についても本大会での発表を歓迎いたします。植物防疫関係2学会(日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会)および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員扱いとなりますので、お近くの関係学会員の方に参加・発表をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。多数のご参加をお待ち申し上げます。

大会関係の記事は、下記のように本News Letterと学会誌に掲載いたします。また、詳細を大会ホームページで随時お知らせいたします。

- News Letter 2016年第4号(平成28年11月20日発行): 大会案内, 一般講演申込み要領, 事前割引登録要領
- 日本農薬学会誌42巻1号(平成29年2月20日発行): 大会日程, プログラム, 会場案内

I. 開催場所

総会, 学会賞授賞式, 受賞講演, 特別講演, 懇親会, 受賞祝賀会

『松山全日空ホテル』(<http://www.anahotelmatsuyama.com>)

航空機をご利用の場合松山空港から空港連絡バスで「大街道」下車(所要約30分)。JR松山駅前より伊予鉄道5系統(松山駅前線)で「大街道」下車(所要13分)。大街道よりホテルまで徒歩3分。

一般講演, シンポジウム, ランチョンセミナー, 展示会

『愛媛大学城北キャンパス グリーンホール, 共通教育講義棟』

(<https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/johoku.pdf>)

駐車場はありません。公共交通機関の利用に、ご協力お願いいたします。

JR「松山駅前」から伊予鉄道1系統(環状線)上一万方面(右回り)で「赤十字病院前」下車(所要18分)、徒歩3分
「大街道」から伊予鉄道2系統(環状線)上一万方面(左回り)で「赤十字病院前」下車(所要8分)、徒歩3分
大街道周辺から愛媛大学城北キャンパスまで徒歩約20分

II. 会期および日程

平成29年3月6日(月)～3月8日(水)

月・日	午前	昼	午後	会場
3月6日(月)	総会, 授賞式 受賞講演		受賞講演, 特別講演 懇親会・受賞祝賀会	松山全日空ホテル
3月7日(火)	一般講演	ランチョンセミナー 編集委員会企画セミナー	一般講演 シンポジウム	愛媛大学城北キャンパス・ グリーンホール, 共通教育講義棟
3月8日(水)	一般講演	ランチョンセミナー 技術士試験対策セミナー	一般講演 シンポジウム	愛媛大学城北キャンパス・ グリーンホール, 共通教育講義棟

常任評議員会, 評議員会および編集委員会は、3月5日(日)に愛媛大学城北キャンパスで開催します。詳細については別途ご案内します。

重要な締切日

(平成28年11月28日(月)に申し込みを開始いたします。)

一般講演申込期限 平成28年12月12日(月) 延長はいたしません。

講演要旨原稿提出期限 平成28年12月26日(月)

事前参加・懇親会登録期限 平成29年2月3日(金)

III. 特別講演およびシンポジウム

1. 特別講演

- (1) 「弱毒ウイルスによるウイルス病の防除：現在から未来へ」
西口正通（愛媛大学・名誉教授）
- (2) 「Mechanisms of insecticide resistance in the green peach aphid, *Myzus persicae*.」
Martin Williamson (Rothamsted Research)

2. シンポジウム

- (1) 「四国の生産現場の問題解決」平成29年3月7日(火) 13:30-
オーガナイザー：山内 聡, 西 甲介
愛媛県における県産農産物の出荷前残留農薬分析調査の取り組み
愛媛県農林水産研究所 間 健二
香川県における健康診断に基づくブロッコリー根こぶ病管理について
香川県農業試験場 中西 充
外来種クビアカツヤカミキリの徳島県内での発生状況とその対策について
徳島県立農林水産総合技術支援センター 中野昭雄
高知県におけるIPM技術の課題と今後の展望について
高知県農業振興部 中石一英
小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム
農研機構西日本農業研究センター 黒瀬義孝
FTIRを用いたカンキツ中の残留農薬迅速簡易定量
三浦工業株式会社 山本一樹
- (2) 「生物の薬剤応答・抵抗性戦略から解き明かす農薬開発とシミュレーション・スクリーニング技術の活用（仮）」（農薬バイオサイエンス研究会との共催）平成29年3月8日(水) 13:30-
オーガナイザー：乾 秀之, 西脇 寿

IV. ランチョンセミナー

各ランチョンセミナーでは、弁当が定員（100名または50名）まで無料で提供されます。チケットは、各セミナー当日の朝8:30から受付付近で配布します。

3月7日(火) 12:00-13:00

編集委員会企画セミナー「編集委員とはなそう」（定員40名）

L1-L3 調整中

3月8日(水) 12:00-13:00

技術士試験対策セミナー（定員50名）

L1-L3 調整中

V. 一般講演申込（一般講演申込期限は平成28年12月12日(月)）

一般講演要旨提出は、本学会会員（および冒頭で記載した4学会の会員）で平成29年度分会費納入者に限ります。受付は全てWeb上で行い、平成28年11月28日(月)より開始します。一般講演を申し込まれる場合は、1演題ごとに発表代表者が次の1～3を行ってください。

1. 東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページ (<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/pssj42>)にログインし、「IX. 参加登録」の項に従って、事前参加登録を行ってください。事前参加登録をされませんと、一般講演の申込はできません。一般講演を行わない参加者の方も、必ず事前登録を行ってください。
2. 一般講演申込の受付は平成28年11月28日(月)からWeb上で開始いたします。1.の参加登録手続き後に、東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページにログインし、マイページ左側メニューの「一般講演申込」から手続きを行ってください。（一般講演申込期限：平成28年12月12日(月)）
3. 2.の一般講演申込手続き後に、「VI. 講演要旨原稿の作成について」の項をご参照の上、講演要旨原稿を作成してください。

い。講演要旨原稿は東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページにログインし、「一般講演申込」でアップロードすることによって提出してください。(要旨提出締切：平成28年12月26日(月))詳しくは、「VI. 講演要旨原稿の作成について」の項をご覧ください。)

※一般講演申込の入力内容について

一般講演申込においては、(1) 演題名 (2) 発表者氏名 (連名の場合は全員、発表者本人の前に○をつける) (3) 所属・連絡先・電子メールアドレス (4) 分類 (下の分類表I, およびIIから選択, 記入例: 第1希望B-1, 第2希望E-5) (5) 代表者の会員番号をそれぞれご入力ください。期限を過ぎると、これらの内容は変更できません。

(4) の分類は、プログラム編成のために使用します。下記の分類表IとIIを組み合わせた記号で希望分野をご記入ください。

(5) の会員番号は、学会誌が送付された封筒の氏名欄右下に記された6桁の数字です。会員用「お知らせメール」にも記載されています。不明の場合は、日本農薬学会事務局 (Tel: 03-5980-0281) にお問合せください。

分類I	分類II
A 分子設計	1 殺虫剤
B 天然物化学	2 殺菌剤
C 合成プロセス, グリーンケミストリー	3 除草剤
D 作用機構, 抵抗性	4 植物生長調節剤
E 生物活性, 検定法	5 防疫薬
F 代謝, 分解, 動態	6 生物農薬
G 製剤, 施用法	7 環境化学物質
H 残留, 分析法	8 その他 (簡単な内容をご記入ください)
I 環境科学, 生態影響	
J 毒性	
K 遺伝子科学	
L レギュラトリーサイエンス	
M その他 (簡単な内容をご記入ください)	

VI. 講演要旨原稿の作成について

講演要旨原稿は紙媒体をしません。『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きすることにより要旨原稿を作成し、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルとして、東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページ (<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/pssj42>) の「一般講演申込」において、ファイルをアップロードすることにより提出していただきます。原稿はそのまま大会事務局でA4版にプリントアウトし、オフセット印刷します。要旨提出期限は平成28年12月26日(月)です。

1. 要旨原稿はMicrosoft Word for Windows もしくは Microsoft Word for Mac にて、『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きして作成してください。図表を挿入しても差し支えありません。なお、1演題につき用紙1枚に限ります。要旨原稿作成にあたっては、要旨記入例を参照ください。
2. 書式 (一般講演要旨原稿テンプレートおよび要旨記入例を参照)
 - a. A4版用紙を用い、上下25mm, 左右20mm を余白とした枠内に記入してください。
 - b. 演題および氏名 (所属) を最上部に書き、左側には25mm (余白と合わせて45mm) の空白を設けてください。発表者が連名の場合には、講演者の前に○印を付けてください。
 - c. 演題・氏名 (所属)・要旨本文および脚注を、それぞれ改行してこの順に書いてください。氏名 (所属) と要旨本文の間には、空白行を1行設けてください。
 - d. 全行数 (演題, 氏名, 脚注などを含む) は36行程度で書いてください。
 - e. 要旨本文は、目的・方法・結果および考察に分けて、具体的に書いてください。特に、結果および考察については、その内容を把握できるようにしてください。
 - f. フォントは12ポイントで、演題は太字にしたゴシック体 (「MSPゴシック」を推奨) を、それ以外は明朝体 (「MSP

明朝」を推奨)を使用して下さい。数字やアルファベットは原則として半角文字を使ってください。

- g. 枠内の最下部から 30mm までの領域内に、脚注として英文による演題と氏名(所属)を書き込んでください。
- h. 英文で記述する場合は、フォントにできる限り「Times New Roman」を用い、上記の様式に準じてください。
3. 要旨原稿ファイルは、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルの両方で提出していただきます。PDF化に際しては、図表に十分な解像度があるか、文字化けはないか発表者自身で確認してください。
4. ファイル名はそれぞれ(氏名の半角英小文字.doc)、(氏名の半角英小文字.pdf)としてください(“松山太郎”の場合は、matsuyamatarou.doc と matsuyamatarou.pdf となります)。
5. 大会講演要旨集に掲載された各要旨の著作権(複製権、公衆送信権を含む)は、日本農薬学会に帰属しますので、必ず「共著者全員の同意のもと承認します」の承認ボタンにチェックを入れてください。

VII. 一般講演について

講演はすべて、Microsoft PowerPointで作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン(OS: Windows 8)には、最新のMicrosoft PowerPoint Viewer(無料ソフト)がインストールされています。演台上的PCは、補助者はつきませんが、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名(半角英数のみ使用).ppt(あるいは.pptx)としてください。例:A101_Matsuyama.ppt
- (2) 講演時間は1題分(講演12分、討論3分)の予定です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字(①、(株)など)の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルはWindows版のPowerPointでスムーズにスライドショーができることを確認してください。特にMacintoshをご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows版のPowerPointで動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

※発表ファイルの受付は、原則として3月6日(月)(一般講演前日)に済ませてください。発表者が受付できない場合は、共同発表者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルはUSBメモリに保存してお持ちください。
- (2) 総会会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウイルスチェックを行なった後、発表ファイルをコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入ったUSBメモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用PCにコピーされた発表ファイルは大会実行委員立会いの下、確実に削除いたします。

VIII. 参加登録(事前参加登録期限は平成29年2月3日(金))

参加登録は、平成28年11月28日(月)からWeb上で開始します。東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページにアクセスしてください。「初めての方はこちらから」のボタンをクリックし、ID(メールアドレス)、パスワードを登録しログインします。参加者の連絡先入力後、大会参加、懇親会参加、宿泊予約等を行ってください。登録手続き完了後、登録内容をお知らせする電子メール(「ID登録完了のお知らせ」)がお手元に自動配信されます。このメールにより、参加登録手続きの完了と申込内容が確認できます。申込内容を確認後、参加登録ページの「支払」から支払い手続きを行ってください。参加費の支払い方法の詳細については支払い方法登録確認のメールにてお知らせします。

支払いはクレジットカードのみとなっております。公費・校費による支払いはお受けできません。

1. 事前登録割引：平成29年2月3日（金）までとさせていただきます。これ以降は、すべて当日受付とさせていただきますので、大会会場にてお申込みください。スムーズな当日運営のため、事前登録割引にご協力いただきますよう、よろしくをお願いします。

		参加登録費	備考
大会参加費 (講演要旨集1部の代金を含む)	正会員	5,000円	2月4日（土）以降は7,000円
	学生会員	2,000円	2月4日（土）以降は3,000円
	非会員	8,000円	2月4日（土）以降は10,000円
	講演要旨集のみ	3,000円	送料込み（大会終了後発送します）
懇親会費	正会員・非会員	8,000円	2月4日（土）以降は10,000円
	学生会員	3,000円	2月4日（土）以降も3,000円

※植物防疫関係2学会（日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員と同じ参加費です。

2. 大会参加登録費用に相当する領収書（参加登録費・懇親会費）は、大会当日に参加証と一緒にお渡しします。
3. 事前参加登録し、参加登録費をお支払いいただいた方は、事前参加登録ページの大会参加証引換券発行ページから大会参加証引換券を印刷することができます。その引換券を印刷して、宿泊等の必要情報を記入いただき、学会当日、大会受付へ提出ください。参加証を引き換えにお渡しします。

IX. 宿泊について

東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページから、ホテルの宿泊を予約していただくことができますのでご利用ください。

X. 託児室について

お子様をお持ちの会員の方々に安心して年次大会に参加していただくために、乳幼児を含む未就学児童から小学生（6ヶ月～12歳）までのお子様を大会期間中に預かりする託児室（無料）を設置いたします。ご利用には事前の申込と手続きが必要です。詳細については追ってお知らせいたします。

託児室の概要

対象	乳幼児を含む未就学児童から小学生（6ヶ月～12歳）までのお子様
設置日時と場所	2017年3月6日（月）9:00～21:00 松山全日空ホテル内 2017年3月7日（火）、8日（水）8:30～19:00 愛媛大学城北キャンパス
料金	無料
申込期限	2017年2月3日（金） 締切後も随時受け付けますので、大会組織委員会までお問い合わせください。

問い合わせ先

愛媛大学生物有機化学研究室
日本農薬学会第42回大会組織委員会
住所：〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-5-7 愛媛大学農学部
TEL: 089-946-9973
E-mail: nishiwaki.hisashi.mg@chime-u.ac.jp
担当：西脇 寿

技術士試験対策セミナーの御案内

日本農薬学会では関連学会と連携して、会員の皆様の技術士（農業部門・植物保護）資格の取得の推進を図っております。これまで隔年で開催して参りましたが、本年度は昨年度に引き続き、日本農薬学会大会（愛媛大学）において、「技術士試験対策セミナー」を開催する予定です。2017年3月8日（水）昼食時に愛媛大学にて開催します。内容は技術士制度、技術士試験の説明および技術士としての社会貢献活動の一例をご紹介します予定としております。詳細は追ってご案内致します。

講師派遣について

日本農薬学会では、農薬に関する正しい理解の拡大、研究成果の普及および学会活動に対する理解を深めていただくため、シンポジウムの開催や広報活動等を行っております。

その一環として、各機関等への講師派遣の活動を実施しています。この活動を通して、学会としての中立的な立場から科学的知見を基にした情報を提供することで、農薬に関する一般市民や農業関係者等の知識の向上や、食料生産や食品安全などに対する総合的な理解を深めていただくことを目指しています。

本活動にご興味がおございましたら、詳細については、下記Websiteをご参照いただくとともに、日本農薬学会事務局にご連絡ください。

U R L : http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html

記

1. 講師派遣に関する費用

講師謝金や交通費は基本的には不要です。ただし、遠方などの場合は、交通費等の実費をご負担いただくことがありますので、事前にご確認ください。

2. お問い合わせ、ご依頼の連絡先

日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会ビル5階

電話番号 03-5980-0281

ファックス番号 03-5980-0282

E-mail nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

農薬科学研究奨励金の交付申請について

日本農薬学会では農薬の必要性、農薬のリスクと安全性を理解していただくための活動の一環として、農薬環境研究補助金交付制度を平成18年度から発足させ、平成23年度までに計10件の研究に対して補助金(30~45万円)を交付しました。その成果は日本農薬学会大会において発表され、また一部は研究論文として日本農薬学会誌に掲載されました。平成24年度からは、農薬の環境科学研究のみでなく、作物保護に必須の資材である農薬の研究を支えることで社会に貢献するという日本農薬学会の原点に立ち返り、基盤となる化学と生物の領域の研究強化・支援を図るための一環として、補助金の対象を広く農薬科学研究全般に拡げることとし、年間2件の研究に対して補助金(1件50万円)を交付しました。平成27年度からは名称を農薬科学研究奨励金と改め、他の競争的資金の獲得が難しい研究者の方あるいは研究課題に対して支援することを優先して交付しています。

平成29年度につきましても、下記の応募要領に従い募集します(交付は2件)。

(対象となる農薬科学の研究テーマ)

1. 作用機構
2. 抵抗性
3. 生物活性・検定法
4. 天然物化学
5. 分子設計・合成プロセス
6. 代謝・分解・動態
7. 残留性・残留分析
8. 環境科学
9. 生態影響

10. レギュラトリーサイエンス
11. 製剤・施用法
12. 生物農薬
13. 遺伝子科学
14. 毒性

すべて、内容は基礎、応用を問いません。

(応募資格)

筆頭研究者は農薬学会正会員（学生会員を含む）であり、かつ申請年度後少なくとも3年間は正会員であること。なお、応募にあたっては、必ず所属長の承認を得てから応募して下さい。

（ここでいう所属長とは、指導教員、室長、部長、所長あるいは研究を行う機関の責任者等を意味します。）

(研究奨励金の規模)

原則として、1件50万円、年間2件以内の試験研究に対し、奨励金を交付いたします。研究遂行の目的であれば、特に用途の限定はありません。本奨励金は、応募者が所属する組織の間接経費・管理経費・共通経費には使用できません。

(研究期間)

研究奨励金が対象とする研究期間は奨励金を交付する4月当初から1年間です。

(応募方法)

所定の農薬科学研究奨励金交付申請書用紙に必要事項を記入し、平成28年11月30日（当日消印有効）までに日本農薬学会事務局宛に郵送して下さい。

奨励金申請書・研究成果報告書の書式は日本農薬学会ホームページからダウンロード（<http://pssj2.jp/inside/grant15.html>）するか、日本農薬学会事務局にご請求ください。

連絡先：〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号

日本植物防疫協会内 日本農薬学会 事務局

電話：03-5980-0281 FAX: 03-5980-0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

ハロウィン、南国土佐で若者達の賑わいに驚いた。大都会とは規模は違うが、仮装の質は高く、悪のりもなく、この祭りが日本に根付いていることが実感された。我々の年代には馴染みが薄いのが、一世代前にとっての聖夜も同じだったに違いない。しかし、南瓜祭は収穫祭でもあり、農業を通した縁がない訳でもない。農業との縁と言えば、同じ頃に世間を賑わした大統領選挙である。TPPの行方は、農業分野には大きな問題だが、実質が好転することを願う。当学会の役員選挙でも今後の活動へ向けて会員の意思が反映されたが、奇しくも同日の開票であった。

さて、今号には、愛媛大会の案内が掲載されている。改修予定の道後温泉や松山城など見所も多く、新体制の紹介もある。大会への参加を是非検討いただきたい。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp